

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

## ♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。  
能登半島地震の影響により、**会場が変更になっています**。今後も変更点がある場合がありますので、  
参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

03 月 15 日 (第 3 土曜日) 第 289 回例会 13:30  
富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館 504 号研修室  
04 月 19 日 (第 3 土曜日) 第 290 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室  
05 月 17 日 (第 3 土曜日) 第 291 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室  
06 月 21 日 (第 3 土曜日) 第 292 回例会 13:30 未定

\*\*\*\*\*

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)  
非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。  
駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

- ◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所、福祉総合相談センター等で相談を  
しましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。
- ◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。
- ◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>

本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

## ♪ 2 月例会報告 ♪

日 時: 2 月 15 (土) 13:30~15:30 富山教育文化会館 502 号室

参加者: 13 名 (男性 7 名 {内体験者 2 名}、女性 6 名 {内体験者 1 名}) のご参加がありました。

例会の始めに、保科さんのハーモニカ演奏にあわせ、『花は咲く』『うれしいひな祭り』『どこかで春が』を歌いました。

### I あいさつと諸連絡 (運営委員会)

2 月になってからの大雪 (しかも大変重い雪) に不安に過ごす日々、日常生活に様々な支障が生じているのではないかと思います。本会は、I さんの呼びかけで 2001 年 2 月に初めて集まり、3 月に「とやま大地の会」と会の名前が付いたと聞いております。従って、今日の 2 月例会が 25 年目の実質的なスタートになります。

I さんの思いを皆さまの熱意で継続して共有できていることを喜び合いたいと思います。

I さんの熱意をあらためて思い起こして、原点を忘れず、皆さまとともに活動を続けていきたいと思ひます。

### II いつもの話し合い

#### 全体交流

- ・子は長い「ひきこもり」で体が虚弱になっているように感じる。また、他県の自治体による“生活保護受給の抑制”の報道には憤りを感じる。
- ・一人暮らしする子のアパートへ行って来た。チャイムは何回か切られたが、本人が居るかすかな気配に喜んだりしている。
- ・子は、元旦の地震以来、不安定だったが少しずつ回復している。
- ・子が、どこかへ出かけているのはわかっていたが、1 年経過して、“〇〇へ行っている”と話してくれた。

- ・30代の息子、高校の不登校からだった。現在は、事業所へ通所し、障害基礎年金の手続き中。
- ・子が、率先して自宅の周囲を何日も除雪してくれ、会話もはずんだ。家族で、外食も楽しむことができた。
- ・大雪で大変だったが、買い物に車で一緒に行ってくれ、助かった。

## グループ交流

### A班（4名）

8050問題：モデル家族を設定して「キャッシュフロー表」を使い、具体的に「親亡き後のひきこもりの子の生活」がどうなるかを検討してみました。

〔モデルケースの家族構成及びその他の設定（キャッシュフロー表で検討）〕

- ・家族構成：父親70代後半（年金暮らし・現役世代は会社員）、母親70代後半（年金暮らし・ずっと専業主婦、長男50代前半（収入なし）
- ・死亡年齢：父親80代前半、母親80代後半、長男80代前半
- ・その他：現時点の貯蓄額：約2000万円。長男の国民年金保険料は60歳まで親が全額納付（長男は65歳から78万円の国民年金受給）。持ち家、長男が亡くなるまでに2回修繕（一回100万円を設定）。他に5年に1回程度の家電の買い替え（1回の費用：20万円）。また父母とも保険加入。父母の葬儀代それぞれ150万円。固定資産税が年間10万円とした。

—このモデルケースでは、長男が82歳の時点で、400万円を超える赤字が発生—

〔4つ改善プラン（キャッシュフロー表で検討）〕

- ・父親が亡くなった後、自宅を売って、売却代金を得る。
- ・自宅を売却せず、生活コストを下げる。
- ・親の葬儀代を150万円から50万円に下げる。
- ・長男が60歳まで、年収24万円を稼ぐ。

長男が82歳まで、生活が可能なのは、どれ？



### <話し合い>

- ・子どもの年金保険料は免除申請している。親が支払うと言っても、支払ったほどに取り戻せないから損すると、子どもが強く言う。
- ・モデルケースで、親の死後、基礎年金（78万円）の支給があれば、パートなど外へ出れなくても、月額2万円（年収24万円）くらいなら、内職でも可能。これで、ギリギリの生活が成り立つことが分るので、年金は必要。
- ・期間限定のアルバイトに行くことにした。自分の貯金が底をつきかけて、新聞の求人折り込みを見て応募した。
- ・8050問題と漠然と不安をいだかず、自分のところは、具体的に何が問題になるのかをみつける上でも、このモデルケースを下敷きして考えてみるができる。

### B班（8名）

- ・子は気持ちに波があります。最近、作業所に行きたい気持ちが増えてきたようです。
- ・子は雪かきを手伝ってくれません。子には根掘り葉掘りは聞かないようにしています。
- ・(母) 仕事しています。昼食は自分で何か買っています。ただ本人は寂しそうです。
- ・兄弟姉妹の仲があまり良くないです。家の同じ空間で、みながホッとしていたらなああと、つくづく考えてしまいます。
- ・子から“大地の会に行ってきた”と言われ、参加しました。
- ・きっちりしているところは必要だと思っていますが、こちらがしんどくなってきます。家庭内に他の空気が必要と思いますが、それが難しいです。
- ・最近は暗いニュースが多く大変です。その雰囲気本人が落ち込みます。それを防止するため食事時はテレビを消しています。
- ・人との関わり方について、無理なく関わっていく。そういう自分の気持ち大切に思っています。

## III その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど体験発表をしてみませんか？約20分間程度を予定しています。

## 2 投稿欄について

会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

### 富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

## IV 高岡つくしの会より（2003年設立）

### 月例会

3月9日（日）場所：高岡市博労公民館 12:30より

※新年顔合わせとなります。



### おとぎの森定例会

3月19日（水）、3月29日（土） 場所：おとぎの森こどもの家2階 14:00～16:00

- ・高サポ：きままスペース 毎週木曜日 14:00～ 高岡地域若者サポートセンター
- ・高岡市役所福祉課祖横断受付・福祉連携推進室（ひきこもりに関する複合的相談）

場所：高岡市博労公民館 時間：12:30より

場所：おとぎの森こどもの家2階 時間：14:00～16:00 おとぎの森定例会

## V 書籍・論文の紹介 発行：（一社）富山県手をつなぐ育成会・富山市手をつなぐ育成会

小冊子：『親から地域社会へのバトンタッチ ～まっちゃん社会自立をめざす対話編～』

2月22日（土）の午後、富山県民会館で

育成会「松の木プロジェクト」啓発セミナーが、下記のテーマで開催され、家族、支援者合わせて130名が参加があり、出席しました。セミナーのテーマは、

親から地域社会へのバトンタッチ  
障害のある本人の社会自立に向けて  
「あなたも“支柱”になってください」

プログラム2では、冊子「まっちゃん社会自立をめざす～対話編～」の各対話場面をお母さん達、お父さん達が何組もペアになって演じられた姿とお声が最も印象に残りました。対話劇のお声を聞きながら、大地の会の会員の皆さんの顔が目に浮かびました。（やま）